



# よしかい育子の 「しんぶん赤旗」読者だより

生活・法律相談・ご意見もお気軽にお寄せ下さい

小川・吉開 検索 「日本共産党田尻町会議員団 小川・吉開です」

2011, 8, 21 NO. 198

編集・発行

よしかい育子  
465-7071  
小川ゆうじ  
466-8887  
なんでも相談所  
465-9939

なんでも相談の開設は  
月・水・金の  
午前10時～正午  
無料・弁護士相談  
9月9日(金)  
午後18時～20時  
予約が必要です

## 第5期介護保険料は基金を全額取り崩して引き下げを

第4期介護保険料	基金 (介護給付準備基金)
全国平均基準額 4160 円	22年度基金残額予定額 2728万円
田尻町の保険料 4368 円	(被保険者一人あたり 15,714 円)

### 社保協の介護保険についての要望

介護保険料を引き下げること。給付見込み額に不足が生じる場合は、一般会計から繰り入れ、高齢者の保険料負担が増えないようにすること。低所得者の介護保険料を軽減するために、非課税者・低所得者の保険料を大幅に軽減する多段階化をはかること。介護保険料の減免制度を大幅に拡充すること。

(田尻町の回答)

介護保険料については、介護給付費準備基金等を取り崩して、できるだけ引き上げ幅を小さくしたいと考えていますが、引き下げは困難な状況にあります。多段階化は、すでに導入しております。

私が加入している大阪社会保障推進協議会(以後、「社保協」)は、毎年大阪府内の各自治体の国保や介護保険などの社会保障を推進させるよう、各市町村に要望するキャラバンを行っています。

8月2日、社保協の寺内事務局長たち3人がふれ愛センターを訪れ、福祉課・住民課などの担当者と話し合いの場を持ちました。小川・吉開も参加しました。

社保協は事前に要望書を町当局に送り、その回答をもとに要望しました。

## 大阪社会保障推進協議会が田尻町に要望しました

### 町当局は全額取り崩さず引き下げは困難と回答

現在、町は第5期の介護保険制度の策定を進めています。

私は、3月議会一般質問で、ため込んだ基金を全額取り崩して第5期の介護保険料の引き下げをもとめました。

町当局は、「国の方針もあり基金を取り崩して保険料の軽減をはかりたい」と答えていましたが、左記のように社保協の要望書の回答には、基金は全額取り崩さず、引き下げは困難な状況とあり、3月議会と矛盾しています。

### 国は基金を全額取り崩すよう示す

国は、第5期保険料設定の基本的な考え方として、介護給付費準備基金の取り崩しについて、「介護給付費準備基金の剰余額は、当該計画期間終了時、すなわち次期計画期間に歳入として繰り入れ、保険料上昇抑制に充てることの一つの考え」とし、「積極的な取り崩しを検討いただきたい。」と各保険者に示しています。

第4期の保険料設定の折、共産党議員団は基金を全額取り崩し保険料値下げを求めましたが、町は基金を1000万円残し料金を据え置きにとどめました。この3年間黒字がつづき、保険料とりすぎだとただしてきました。

### 皆さんと力を合わせ

### 公約実現へがんばります

共産党議員団は4月の町会選挙で、切実な要望にもとづき介護保険料の引き下げを公約に掲げました。

3月議会では「保険料軽減をはかりたい」という答弁を引き出しました。公約実現のために9月議会でも取り上げがんばります。ご支援下さい。

ご参加ください

## 泉州地域住民集会

8月27日(土)

午後2時～4時

泉佐野市社会福祉センター4階

主催：泉州の地域医療を守る会

事務局・岸和田市職労 春崎(072-432-4650)

府立泉州救命救急センターは大阪府の責任で運営を!



### 停電はカラスが原因

8月12日、吉見地区で停電事故がありました。カラスが原因でした。普通、鳥は感電するとすぐ下に落ちますが、落ちずにカラスがまたがってとどまっていたためでした。